

～ ご参加の皆さまへ お願い ～

- ・市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列または二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分に気を付けてください。
- ・急坂や石段などもありますので、足元に注意してください。
- ・果樹や野菜、植物などは採取しないでください。
- ・地元の方々のご理解、ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないようにしてください。
- ・ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。



- ① 草花公園
- ② 平井川河原
- ③ 平沢下湧水
- ④ 平高橋
- ⑤ 多西橋
- ⑥ 廣濟寺
- ⑦ 庚申塔
- ⑧ 二宮考古館
- ⑨ 二宮神社、お池

私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまに紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

マスクの着用、検温、体調がすぐれないときの取りやめなど、新型コロナウイルス感染防止にご協力を願ひいたします。

<担当解説員> 國吉信男・原田辰生・笹本英一

市民解説員が案内する市内探訪

桜と湧水の平井川沿いを歩く ～ 水と歴史の平沢・二宮 ～



<平高橋下流>

<コース>

秋川駅 ～ 路線バス ～ 停留所（あきる野市民球場）～ 草花公園
～ （平井川右岸）～ 平井川河原 ～ 平沢下湧水 ～ 平高橋 ～
多西橋 ～ 廣濟寺 ～ 庚申塔 ～ 二宮考古館 ～ 二宮神社 ～
お池 ～ 東秋留駅（徒歩 約4.5km）

令和3年4月2日（金）

あきる野市中央公民館

<平井川>

日の出山の山麓を源にし、日の出町・あきる野市を流れ、JR五日市線鉄橋付近で多摩川に合流する一級河川。(長さ約16.5 km)
あきる野市内では、秋留台地の北側を西から東へ流れ、鯉川・氷沢川が合流する

<草花公園>



①草花公園・あきる野市民球場
草花公園内にある広い池にも、近くから湧き出た水が小川となって、流れ込んでいる

<ソメイヨシノ> エドヒガン系の桜とオオシマザクラの雑種が交雑して生まれた。名前の由来は、江戸時代末期から明治初期に、江戸の染井村に集落を作っていた造園師や植木職人達によって育成されたことによるとの説がある

②平井川の河原

☆「河原の石ころにも歴史がある」
☆「河原の石を見ると上流部の地質がわかる」
平井川では「石灰岩」や「チャート」が目につくが、さてその訳は？

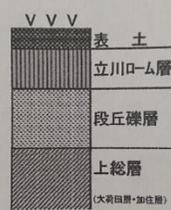
<チャート>



<石灰岩>



◇秋留台地の地質構成



③平沢下湧水

秋留台地は秋川・平井川に挟まれ、段丘崖や段丘面に湧水が点在する。秋留台地は水を透し易い砂礫層の下に水を透しにくい粘土層がある。両層の境界が、段丘崖で露出したり、段丘面の地表近くに存在したりすることが、この土地に湧水が発生する理由といわれている

④平高橋

平成元年11月に架け替えられたが、以前と違い高瀬側が上の段丘面につながったので、橋は傾斜している。また、流れに対して斜めに架けられていることから左右のアーチがずれ、歪んでいるのが面白い

<平高橋>



<多西とは> 大正10年(1921年)に「草花村」「原小宮村」「瀬戸岡村」「菅生村」が一緒になりできたのが「多西村」。「多西」とは、律令時代の「多摩郡」が広がったため、東西に分けて呼ばれた時の呼称

<多西橋上流>



⑤多西橋

平井川最下流の橋 五日市街道が通る「多西」とは多西村に由来する
上流方向には大岳山(1266m)が望める

<田中丘隅回向墓>



⑥廣濟寺 「臨済宗建長寺派 平澤山 廣濟寺」

創建：天正15年(1587・安土桃山時代)

本尊：釈迦牟尼如来

本堂：昭和24年(1949)罹災消失し、平成6年旧姿に復す

<田中丘隅> あきる野市平沢出身の江戸時代中期の民政家(平沢村の名主窪島家の次男) 川崎宿の本陣で名主の田中家の養子となる
名著「民間省要」を世に問い、これが8代將軍吉宗に認められ、大岡越前守配下の支配勘定格として多くの治水工事を成し遂げた
回向墓は丘隅の兄、窪島祖道が建立(神奈川県川崎市に本墓)



<庚申塔>

⑦庚申塔

中国から伝わった道教の教えに由来する「庚申信仰」により建てられた



<二宮考古館>

⑧二宮考古館

平成2年8月(1990年)に開館。あきる野市内で発見された石器や土器等を中心に展示し、旧石器時代からの時代の流れも解る内容になっている。縄文土器や石器に直に触れる「さわれる土曜日」(休館日以外の土曜日)などの事業が行われている

<二宮神社>



⑨二宮神社・お池

創建は不詳 御祭神は「国常立命」
昔より「小川大明神」又は「二宮大明神」と称されたが、明治3年(1870年)に「二宮神社」と改称された。秋の例大祭(9月9日)は「しょうがまち」として賑わう

<お池> 「東京の名湧水57選」に選ばれている

秋留台地からの湧水で常に豊かな水をたたえ、枯れたことがないという。池の脇にオシャモジ様の祠がある

<お池>